

事務事業評価シート

H28(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	企画総務部
	12017-1	リニア中央新幹線亀山駅整備基金積立事業	室名	企画政策室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	08:新たな国土軸の形成	務	款 諸支出金
実施体系	施策の方向	02:リニア中央新幹線の実現に向けた取り組み	科	項 基金費
	戦略プロジェクト		目	目 リニア中央新幹線駅整備基金費

② 目的・概要	対象	市民
	目的	将来において、リニア中央新幹線の市内における停車駅の整備事業を展開する際の財源確保するため、リニア中央新幹線亀山駅整備基金の積み立てを行うものである。(亀山市基金条例第3条)
概要	目標とする20億円に向け、計画的な基金積み立てを行う。なお、積立額は、毎年度の財政状況を勘案し、適切な額を積み立てることとする。	

		27年度	28年度
①	名称	リニア中央新幹線亀山駅整備基金積立金	
	補足	計画値	
		実績値	50,000
		単位	千円
②	名称	リニア中央新幹線亀山駅整備基金残高	
	補足	計画値	
		実績値	1,550,904
		単位	千円
③	名称		
	補足	計画値	
		実績値	
		単位	
④	名称		
	補足	計画値	
		実績値	
		単位	

年度計画				年度実績				
				平成28年度実績				
				積立金 50,130千円				
				年度末残高 1,601,034千円				
④ 事業の計画・実績	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	73
		国庫支出金				費	一般職員人件費 ②	73
		県支出金					所要人員 ③	0.01
		地方債					臨時職員人件費 ④	
		その他		3,600	3,600		受益者負担額 ⑤	
		一般財源		46,530	46,530	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		再掲	翌年度への繰越額					
			前年度からの繰越額					
			総人件費		①	73		
			総コスト		⑥	50,203		

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	目標額20億円に向け、平成28年度当初予算に計上した5千万円及びふるさと納税による寄附額13万円の積立を行うことができた。この結果、年度末残高が目標額の80%となった。	総合判定
			A 順調に進んだ

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】	リニア中央新幹線の整備については、東京・名古屋間の工事が本格的に始まり、名古屋・大阪間の開業も当初予定の8年間前倒しに向け、取り組みが行われている。今後も厳しい財政状況が続くことが見込まれるが、東京・大阪間の早期開業と市内停車駅誘致を見据え、リニア中央新幹線駅設置後に、駅を中心としたまちづくりを早期に実施するための財源として、着実に積立を行っていく必要がある。
	【改善の方向性】	今後も厳しい財政状況が続くことが見込まれるが、継続的に適切な基金の積立を行っていく。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 企画政策室長 豊田 達也
--------------	---------	-----------------------